

# たんほほ

NO.34

H10年8月1日

— 発行 —

〒869-1217

熊本県菊池郡

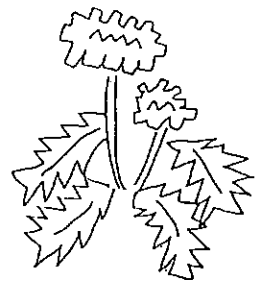
大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



クッキングタイム

松村 雅子

再判定の必要なし

施設長 田中 稔

梅雨が明けたと思ったら猛暑がやって来ました。異常に早い梅雨明けでした。この頃よく思うのですが、何か世界規模で異常気象が起こっているように思うのですが、もっともビール好きの私には仕事の後の一杯が堪えられない事になるのです。

次のような文章が行政より送って来ました。

「療育手帳をお持ちの皆様へ」この度、療育手帳の再判定基準を次のように改正いたしました。

一、18才以上でA1の手帳をお持ちの方

二、50才以上で手帳をお持ちの方

につきましては、再判定の必要がなくなりまして。ただし、状態に変化のあった時は、再判定を受けていただくこととなります。

この通達は、おかしくはありませんか。なぜ18才以上なのでしょいか。

A1とA2との違いには、往々にして行政的な判断が入ることがあります。A1とA2の判断に明確な基準はないと思います。

子供達と長くかかわっていますし、施設に入っている子供でも少しずつ生活能力が伸びていきますし、コミュニケーション能力も向上していきます。又、施設職員一同もその為に頑張っているのです。

状態に変化があったら判定を行うということですが、変化があったかどうかをチェックするのが、判定という作業ではないのでしょうか。

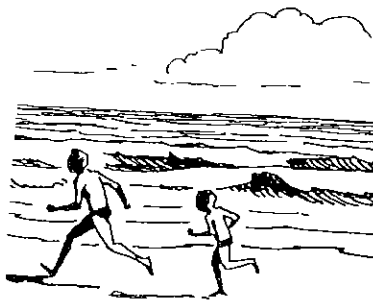
この話を保護者にしますと別の反応が返って来ました。「どうせ判定などというものは行政的形式的なもので、あんなもので、あの程度のことでは子供の状

況や実態は分かるはずはありません。子供も親もせからしくて、嫌な思いだけが残る判定が無くなればほっとします。」

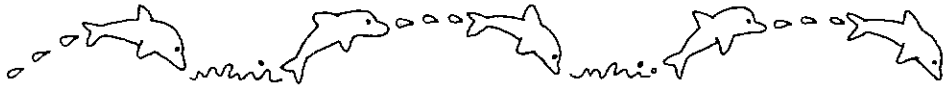
というものでした。そういうものかと思いました。

行政も仕事が減って楽になるし、親も楽になるし、施設も51名のA1がいますが楽になるし？、全て良しということでしょうか。

しかし、一体、子供達自身のこととはどこに行ってしまったのでしょうか。何かおかしいという気がします。



泰成は家事が好きです。(これは私が染をするために教えた訳ではありません。)特に水を使う台所仕事には意欲的です。危ないことや失敗も多くありましたが、簡単なことは出来るようになりました。最近では、「何を作ると思っていますか?」と聞くと冷蔵庫の材料を見て「メニユーが分かったりします。そしてテーブルに材料の肉や野菜・調味料を並べます。泰成が洗い、皮をむき、切り、私が炒めたり(やっぱり染をしているのかしら)そんな共同の作業を通じて思っていることが分かるのを実感します。小さいころ、弟が「泰ちゃん、宇宙人かもしれないね。」などと言うくらい不可解な行動ばかりでした。でも今、多くの先生方の導きや、助けて下さる皆さんの御陰で心が通え合える時間をもてるほどになりました。そんな時間を楽しみ、大切にしたいと思っています。そしていつの日か、年老いた私に「ご飯が出来たよ!」なんて作ってくれるときがくるかも!。



## 2班・うちの西郷どん

7月7・8・9日。待ちに待った鹿児島旅行。やはり普段の行いの良い我が2班ですから天気にも恵まれ、ぐったりとしてしまう程の日差しが迎えてくれました。

その中でとっておきのエピソードを一つ御紹介します。城山公園でのこと、忠ちゃん・上田さんはバスの中で一休みして、他の人は汗をかきかき展望所へ。そこで写真を撮ろうとすると、後ろから呼ばれ、振り返ると西郷さんの看板があります。「フンフン」とうなづいて見ていると、顔は泰彰くんじゃあないですか!? みんな一斉に大笑い。中には涙を流している人もいます。「あまりに似合いすぎ!」と言う声も飛びました。そんな状況でも泰彰くんは表情を変えずに立っています。「何がおかしいの!」と言った感じです。その物応じしない姿がより一層西郷さんの風格を出しています。「西郷どんここにあり」そんな言葉がピッタリの立ち姿でした。写真に納めていますのでお楽しみに。

P. S ホテルでも仲居さんに「この兄ちゃんは西郷さんのようだ」と言われていました。

石丸

## 3班・暑さにもマケズ...

毎日暑いですねー。夏バテなどしてないですか? 木工班のみんなは、とても元気です。

修ちゃんは、雨ニモ負ケズ風ニモ負ケズ、毎朝黙々と10駆歩いています。真一郎くんも、お散歩大好きです。靴下を自分で履いて毎日準備O. Kです。友ちゃんも、真一郎くんと同じくらいお散歩大好きで大喜びで出掛けて行きます。憲ちゃんは、草取りもお散歩も同じくらい好きです。作業棟前の草は、一章くんと協力してきれいに取ってくれます。哲ちゃんはダイエットの為みんなに遅れないようにせっせと歩いたり、走ったりしています。時々、誠くんや剛くんも散歩のメンバーに加わり、楽しい散歩となります。三気の里周辺を歩いている木工班のメンバーを見かけたら、手を振って応援してくださいね。

他のみんなは、クーラーの利いた作業棟でペーパーがけや、新しくなった教材(分類や仕分け・ネジはめや分解・パズルや型はめ等)を頑張っています。沢山の製品(マグネットのお家やお魚)ができています。是非見に来てください。待ってまーす!

高橋

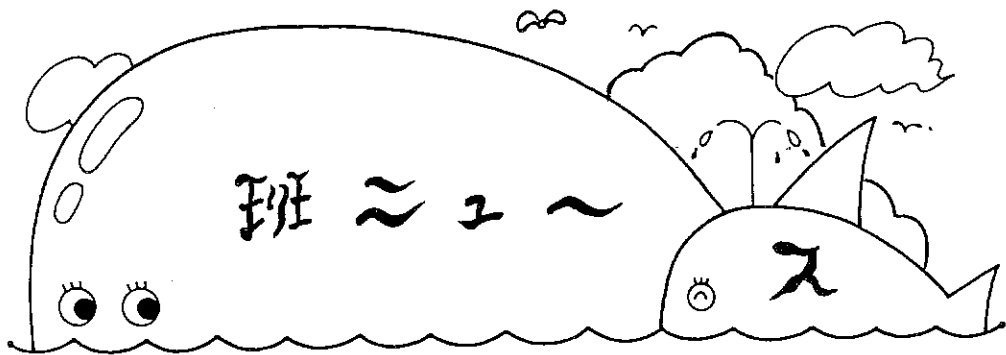
## 5班・夏は暑いですね!

「暑いね。」と私が言うと、「夏だから暑いのは当たり前たい。」と答える宏幸くん。そうなのです。夏だから暑いのであって、夏に雪が降らない限り、特に珍しいことではありません。日本人は、当たり前のことを言いあって安心するようなどころがあります。A「どこまで行きますか。」B「ちょっとそこまでです。」A「あーそうですか。」全く訳がわかりません。宏幸くんは、私に「当たり前ことは言うな。こっちまで暑くなる。」と言いたかったのだと思います。

それにしても暑いですね。暑さに負けたわけではありませんが、現在、園芸班では午前 草取り等の外作業、午後 室内での椅子作りを行っています。今年の園芸班は、新しい可能性を模索することを目標に掲げており、椅子作りはその一環です。椅子は、牛乳パックを使って作るリサイクル商品です。まだ、職員が試行錯誤している段階なので、園生のみんなには迷惑をかけています。9月には完成品をお披露目できるかと思っています。突然ですが、牛乳パック、古新聞、チラシをいただけませんか。紙面をお借りしてお願い申し上げます。

これから秋口にかけては、いつも悪い病気が流行します。ご自愛専一に爽快な夏を過ごされますようお祈り致します。

松田



### 1 班・矢谷溪谷バーベキュー

濃い緑と木漏れ日と、小川のせせらぎと鳥の声。溪谷の中は別天地だった。その“別天地”で職員は汗水流して肉・野菜を焼く。待たせられた方は、次々と平らげて空になった皿を差し出す。焼いているほうは身を焦がす炭火と次第に募る焦燥感とでジリジリとした気分になる。「さあ、終わったぞ！」という時になって、こらえかねたようにドボンと川に入りひざまで浸かりザブザブと顔を洗う。水は切るように冷たく、ジリジリとした気分は一気に流れて行ってしまった。

ふいに、あっちゃんの笑顔が近づいた。麻生指導員とやって来て、転びそうになる度にびっくりして、目を白黒させている。気が付くと、後ろには英君が岩に寄りかかって佇み、マー君、憲吾君が笠松指導員に誘われて(?) スポンの上の方まで、水に浸ってぬれている。よっちゃんは、皆と少し離れたところで素足を水に浸けて和み、舞君はスポンのまま腰まで浸かって(テレビである)ジーンズの宣伝みたいだと職員受けしていた。そして、バシャバシャとすごい勢いで高田指導員を追いかけて水に潜ってしまった洋一君。「寒いです。」と少し震えながら破顔した。岸の上では、後の皆が笑いながらその様子を見守っている。

『濃い緑と木漏れ日と、小川のせせらぎと鳥の声。』帰り際に、予想もしなかった雷と大雨に見舞われ“テンヤ、ワンヤ”になってしまったが、徐々に皆の笑顔が印象に残るレクになった。 坂本

### 4 班・常夏の島“ヨロン”

残暑厳しい今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、農耕班では、7月15日(水)から7月17日(金)の2泊3日でみんなが待ちに待った宿泊レクリエーションで与論島に出掛けてきました。前日よりソワソワ、ワクワクしていた藍ちゃん、るり子さん、準備物のチェックと出発当日まで丹念に行っていました。出発当日、熊本は曇り模様、鹿児島は雨。与論島まで無事たどり着くかどうか、心配しながらの出発となりました。ところが、与論島は快晴。1日目は海岸をゆっくりと散策しました。2日目、朝から波が高く、どんよりと曇っていましたが、午前中は海水浴を楽しむことができました。波の高さにおおはしゃぎだったのぶちゃん、隆博君、久美ちゃん、浩ちゃん、猛君、聡君、一裕君、新ちゃん、創くん。浜辺で砂遊びをしていた緑恵ちゃん、潔君、英輔君、泰君、高志君。皆それぞれに与論島の夏を満喫していたようです。…ちなみに、午後は大雨で部屋にて、お昼寝タイムとなってしまいました…。3日目は、2日目と全く違い快晴。快晴の中の帰熊となりました。「帰る日になって、どうして晴れるの? 雨男、雨女は誰だろう…?’職員同士の“口論”の結果、指導員との声が…。生憎、天候には恵まれなかったものの、今回、飛行機を利用しての宿泊訓練でしたが、外出先での皆の落ち着いた様子が印象的で、どこへ行ってもおかしくありません。毎年、毎年、成長していく皆の姿をこれからも見守っていきたいと思います。

満原

## 健康診断

田邊 剛政

三気の里では毎年、五月と十一月に健康診断を行います。2回の健康診断は内容がやや異なります。五月は医師の診察、身長、体重、血圧、これに胸部レントゲン検査が加わります。レントゲンは成人病検査センターの回診車の中で撮られますので園生が乗り込むと車体に大きな揺れが起こります。しかし、この2、3年その大きな揺れも外から見てみるとあまり見られなくなってきました。以前は、車中でジャンプしたり、奇声を発したり、レントゲンの前で静止できなかつたり、車にも入れない等様々でした。検査技師の方たちもさぞかし撮りにくかつたろうと推察しますが近年そういうことも殆どなくなりました。広い部屋で待機する人、名前を呼ばれ並んでいる人、レントゲン車の前で待つ人、レントゲンを撮られる人、皆が落ち着き整然としています。

十一月にはレントゲンはありませんが、血液検査のための採血があります。予定の分かる園生は

「注射」がまず1番に頭に浮かぶようです。当日は、朝から「注射せん」を連呼したり、何故か落ち込んでいたり、と始まる前は混乱があります。しかし、それも始まってしまえばちょっとした抵抗はありますが、スムーズに事は運びます。

採血の場面でも最初の頃、は全ての園生がベッドに横になって4、5人の職員が両足、腰、肩、頭、腕をブロックして採血していましたが。当時は、健康診断をしているような静寂とした雰囲気はなく、ただ騒々しいだけの場所でした。その後、抵抗の少ない園生から徐々に椅子に座って採血するように、変えて行きました。しかし、椅子に座っていてもいつ動き出すか分からないのでブロックは必要です。それには、2人の職員がつかまします。椅子から立たないように後ろからブロックする人、もう1人は腕を引かないようにブロックします。

今では、抵抗が強くてベッドでしなければならぬ園生も4、5人になり、椅子に座ってすることにも慣れてきたため、用心のためにブロックする態勢をとっている

だけでよいようになってきました。抵抗の強い園生はどういう園生かというと、恐怖心が強く接触性が悪い園生です。こういう園生は椅子に座ってするという当たり前なやり方が学習できないでいます。何人もの見本を見せてもこれは無理なようです。接触性だけでも改善されないと、他人が触れるような、ましてや注射針が刺さるなどということは彼らにとっては苦痛以外の何ものでもないでしょう。

他には、今何をされているかを考えずに突発的に動く園生、情緒的に落ち着かない時期に当たった園生などです。前出の「注射せん」を連呼する園生は、「予定が分かる」「(嫌なことでも)予定は実行しなければ気が済まない」という園生で、最後には自分で腹括りができるのでしょう、かブロックもなく採血ができます。(そこにたどり着くまで職員とのやり取りには大変なものがありますが……)

この十年での年にたった1回のレントゲン撮影や採血をすること、園生の(経験の積み重ねの)成長が垣間見ることが出来ます。職員一人一人が、今何をしなければ

ばならないのかを考え、動き、その結果が今の園生に表れていると思います。新しい職員はできあがったシステムの中で、ただ流されて動くのではなくこれまでの過程を知り、自分で考え動いてほしいと思います。

## 七夕祭り

麻生 貴美

本格的な夏を迎え、おひさまが主役の季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、三気の里では、去る7月7日(火)に七夕祭りを行いました。1人ずつ短冊に願い事を書いて、笹の葉にくくりつけ、食堂に飾りました。皆それぞれに願い事は違いますが、「美人になりますように」、「夏のパジャマがほしいです。」、「鳥の丸焼き」……皆の欲しいものが一目で分かっただけでした。夕食前にタンポポの部屋に集まり、指人形でのおりひめとひこぼしのお話を聞いて、七夕の歌を歌い、豪華な夕食で七夕祭りは終わりました。……さて、皆の願い事は叶ったのでしょうか?



## アコーディオン

佐藤 香織

野々島学園の土井園長よりお誘いを受け、音楽クラブ代表職員の坂本、笠松、佐藤、の3名が、5月よりアコーディオン教室へ通うことになりました。講師に高瀬良先生を迎え、生徒は他に野々島学園の指導員2名、つくしの里より2名の計7名。場所は戸島町のつどの家。手作りの黒板、手作りの楽譜立てを使ったアットホームな教室です。

各々の施設の園生にアコーディオンを指導する事を目標とし、まずは指導員から練習しよう！と始まったこの教室。アコーディオンに触れるのが全く初めての私たちは、左手のジャバラを動かし音を出すまでに1カ月かかり、普段使わない筋肉を使って筋肉痛になりながらも3カ月経った今では、一応曲が弾けるようになり、毎週毎週新しい曲に挑戦し、苦しみながらも楽しんでます。音楽クラブがミュージックベルを始めて4年が経ち年々上達するのを感じている今、皆様の前で音楽クラブのメ

ンバーがアコーディオンデビューできる日は何年後になるのだろうかと思像しています。あまり期待せずに、乞う御期待！



第7回菊池郡市社会福祉施設

職員体育実技研修会

高田 一通

去る、7月4日(土)に合志町体育館「ヴィーブル」にて、表題の研修会が開催されました。

実技種目は5人制のミニバレーボールで、三気の里からもA・Bの2チームが参加しました。

この日の為に仕事が終わった後などの時間を利用して、一週間ほど練習を続けて来ました。毎年参加のこの大会ですが、いずれも予選の段階で敗北を喫していただけに今回も選手全員に気合が入っていました。

予選は、4チームずつのリンク戦で行われ、2勝したチームが決勝トーナメントに進める仕組みで、三気の里のAチームは2勝し、初のトーナメント進出を決めました。Bグループは1勝1敗で惜しくも予選で敗退してしまいました。Aチームはその後トーナメン

トを勝ち進み、準決勝で惜しくも敗れたものの3位という快挙を成し遂げる事ができました。

表彰式では、チームに表彰状と賞品が、また個人の部門では、

わたしが優秀選手賞をいただきました。(笑)

(3位以上のチームが各チーム内で決める事になっており、賞品の洗剤欲しさに立候補しました。念のため：)

この入賞の喜びを糧として、これから仕事のほうでも頑張っていこうと思う今日このごろです。役員を始め、選手の皆さん、大変お疲れ様でした。



吉田 真紀

この度、7月をもって三気の里を退職します。皆様には、多々御迷惑をおかけすること存じます。申し訳ありません。

5年程前、登山のVOに参加させて頂いた折、ある職員の方の何げない話に強く引かれました。それが三気の里への第一歩だった

様に思います。4年と4ヶ月；なぜか今も、スタート地点に立っている思いです。もしかすると、やっとな立たのかもしれないが；。

まず、これまでの経験、学ばせてもらった事、皆さんに出会えた事、すべてのきっかけを作った下さった事に感謝します。いつも力強く励ましてくださった保護者の皆様、時間を割いて一つ一つ御指導くださり見守って下さった諸先輩の方々、見習うべきことが多かった素敵な後輩の皆さん、よく笑いだ語り集った同期のみんな、御世話になった事務・厨房の皆さん、退職されてしまった思い出深い皆さん；そしてかけがえない存在の園生の皆さん；わたしはいつも皆のことで頭が一杯でした！。おそわって助けてもらってばかり、御心配をおかけしてばかりでしたが、今まで本当にありがとうございました。口ではきつとうまく伝え切れないと思ひ、たんぼの誌面をおかりしてここぞとばかり長くなっしてしまいました。これからも、三気の里の皆様の御健康・御多幸を心よりお祈りしています。本当に御世話になりました。

### 8月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
					1	2	
	☼ 姿ちゃん・兒子さん・一精くん・坂田くん・西澤さん・由美ちゃん誕生日おめでとう! ● 夏季帰宅訓練(8日~24日まで) ☼ 27日(木)誕生会 ☼ 実践キャンプ(9日~12日まで)						
3	4	5	6	7	8	9	
					姿ちゃんの誕生日(20) 実践キャンプ→12日まで ● 夏季帰宅訓練.....(24日まで)→		
10	11	12	13	14	15	16	
		→ ☼ 実践キャンプ 終了					
17	18	19	20	21	22	23	
坂田くんの誕生日(24) 西澤さんの誕生日(25)						由美ちゃんの 誕生日(31)	
24	25	26	27	28	29	30	
● 夏季帰宅訓練終了			☼ 誕生会	/ たんぽぽ編集日			
31							

※ 今月は保護者会、帰宅バス、レクリエーションはありません。



### ボランティア通信

食室当番卒業中

暑中お見舞い申し上げます。学生の皆さんは、夏休みに入り楽しい毎日を過ごしていることと思います。

4班のみんなが心待ちにしていた与論島の宿泊レク。厨房に来る度、園生はかわるがわる「一緒に行こうね。」と楽しみな様子。

さて、現在三気の里では、室内作業班、外作業班に分かれ、それぞれの作業を頑張っています。特に、外作業班のメンバーは毎日、畑の草取り、園周辺の草取りに精を出しています。おかげで、綺麗に日焼けをして健康的です。汗をかいた後の麦茶がたいへん美味しい季節です。いよいよ三気の里でも夏季帰宅訓練に入ります。(8日(土)~25日(日)まで)ボランティアの皆さん、時間がありましたら、是非三気の里へ遊びにいらしてください。三気の里の皆さまわやかな汗をかき、この暑い夏を乗り切りましょう。詳しくは、ボランティア担当の園岡、麻生貴満原までご連絡ください。満原(ボランティアありがとう)

- ☆ 生け花 西村栄子
- ☆ ブラッシング指導 前淵隆子
- ☆ 園生把握 瀧石健司

家入誠次朗  
※ 敬称略

編集後記  
ムシムシ暑い日が続いておますがいかがおすごしでしょうか? さて、我々タンポポ編集員も、中だるみの時期に入ったのか、なかなか先に進みません。今は、戦場のような感じです。前田



広瀬